



2019年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2018年11月30日

上場会社名 株式会社ダイサン 上場取引所 東
 コード番号 4750 URL <http://www.daisan-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 武敏
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 多留 健二 TEL 06-6243-6341
 四半期報告書提出予定日 2018年11月30日 配当支払開始予定日 2018年12月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年4月期第2四半期の業績 (2018年4月21日～2018年10月20日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第2四半期	3,960	△3.0	218	△35.3	222	△34.9	132	△36.8
2018年4月期第2四半期	4,081	0.8	337	3.1	341	1.4	209	△1.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第2四半期	20.64	—
2018年4月期第2四半期	32.65	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年4月期第2四半期	8,689	6,753	77.7	1,053.04
2018年4月期	8,272	6,705	81.1	1,045.65

(参考) 自己資本 2019年4月期第2四半期 6,753百万円 2018年4月期 6,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2019年4月期	—	13.00	—	—	—
2019年4月期 (予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年4月期の業績予想 (2018年4月21日～2019年4月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	4.8	655	0.3	655	△1.2	420	6.2	65.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年4月期2Q	7,618,000株	2018年4月期	7,618,000株
② 期末自己株式数	2019年4月期2Q	1,205,111株	2018年4月期	1,205,110株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年4月期2Q	6,412,889株	2018年4月期2Q	6,412,890株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が堅調に推移し、設備投資や個人消費に持ち直しの動きがみられる中、景気は緩やかな回復が続いたものの、人手不足や原油高によるコストへの影響、夏場に相次いだ自然災害の影響に対する不透明感が強まりました。

当社に関連の深い住宅業界について、住宅着工戸数は前年同期と比べ弱い動きが続き、利用関係別では特に貸家に対する着工戸数の減少が目立ちました。また、建設業における人手不足は深刻さを増し、労働力確保の厳しい状態が続きました。

こうした状況において、当社では当事業年度を初年度とする新たな中期経営計画を立ち上げ、3事業年度の売上高、営業利益目標及び株主還元方針を設定致しました。計画においては中層大型建築物向け足場施工と製商品の販売拡大や施工サービス事業の資源を利用した事業領域の拡大、多様な人財の獲得と働きやすい職場環境の構築など5つの重点戦略を掲げております。当期間については、減少が想定される新築注文向け工事から中層大型建築物向け工事への施工資源シフト、人手に頼らない建設現場に関わる新たなサービスの開拓、市場ニーズに対応した新型足場の開発、働く環境の改善として賃金や勤務体系など就労条件の改定を進めました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は3,960百万円(前年同期比3.0%減)、利益につきましては、営業利益218百万円(同35.3%減)、経常利益222百万円(同34.9%減)、四半期純利益132百万円(同36.8%減)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①施工サービス事業

施工サービス事業につきましては、新たな中期経営計画にて進めている中層大型建築物向けの営業活動を積極的に進めた結果、同建築物向けの足場施工は大きく増加致しました。しかし、住宅着工戸数が軟調であることから、戸建て向けの足場施工は減少致しました。また、夏場に記録的な猛暑が続いたことなどから在籍する施工スタッフ数は減少し、地域は限定されるものの自然災害の発生により足場施工の稼働率は低下致しました。

以上の結果、売上高は3,418百万円(前年同期比0.8%減)、売上総利益は1,130百万円(同6.3%減)となりました。

②製商品販売事業

製商品販売事業につきましては、中層大型建築物工事向けに安全性を高め軽量化を進めている新型足場について、多様なニーズに対応した結果、開発が遅れることになりましたが、当第2四半期末に完成し、生産の目処が付きました。また、ピケ足場の主要販売先は、当社と同様に戸建て向けの足場施工会社が多くを占めるため、住宅向け工事の減少と足場施工者の不足により保有資材の稼働率が低調に推移したことなどから、一部で持ち直しの動きはあったものの、ピケ足場に対する需要は大きく減少致しました。

以上の結果、売上高は506百万円(前年同期比13.8%減)、売上総利益は144百万円(同11.3%減)となりました。

③その他

その他につきましては、業務受託料および保険代理店収入等で構成されており、売上高は35百万円(前年同期比25.9%減)、売上総利益は21百万円(同20.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加63百万円、受取手形及び売掛金の増加215百万円、電子記録債権の減少158百万円、たな卸資産の増加53百万円、土地の増加237百万円等により前事業年度末に比べ417百万円増加の8,689百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加233百万円、長期借入金の増加175百万円等により前事業年度末に比べ370百万円増加の1,936百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ47百万円増加の6,753百万円となり、自己資本比率は77.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年4月期の業績予想に関する事項につきましては2018年5月31日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年4月20日)	当第2四半期会計期間 (2018年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,249,166	2,312,648
受取手形及び売掛金	1,280,078	1,495,660
電子記録債権	253,375	95,127
たな卸資産	453,506	506,699
賃貸用仮設材	684,460	615,414
その他	25,525	19,846
貸倒引当金	△2,648	△3,184
流動資産合計	4,943,464	5,042,212
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,419,594	1,656,757
その他(純額)	562,629	648,907
有形固定資産合計	1,982,224	2,305,664
無形固定資産	92,171	112,509
投資その他の資産		
投資有価証券	713,464	710,434
その他	545,734	524,027
貸倒引当金	△4,862	△4,858
投資その他の資産合計	1,254,336	1,229,603
固定資産合計	3,328,732	3,647,778
資産合計	8,272,197	8,689,991
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	346,638	580,375
電子記録債務	203,226	196,113
1年内返済予定の長期借入金	8,700	100,000
未払法人税等	128,814	91,770
賞与引当金	152,445	116,444
その他	560,277	511,233
流動負債合計	1,400,101	1,595,937
固定負債		
長期借入金	—	175,000
資産除去債務	75,999	77,894
その他	90,439	88,120
固定負債合計	166,439	341,014
負債合計	1,566,541	1,936,952

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年4月20日)	当第2四半期会計期間 (2018年10月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	566,760	566,760
資本剰余金	649,860	649,860
利益剰余金	6,334,760	6,383,754
自己株式	△918,981	△918,982
株主資本合計	6,632,399	6,681,391
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,257	71,646
評価・換算差額等合計	73,257	71,646
純資産合計	6,705,656	6,753,038
負債純資産合計	8,272,197	8,689,991

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月21日 至 2017年10月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月21日 至 2018年10月20日)
売上高	4,081,023	3,960,250
売上原価	2,684,847	2,663,812
売上総利益	1,396,176	1,296,438
販売費及び一般管理費	1,058,919	1,078,281
営業利益	337,256	218,157
営業外収益		
受取利息	316	204
受取配当金	936	1,261
受取保険金	—	189
受取賃貸料	560	—
その他	6,390	6,083
営業外収益合計	8,203	7,738
営業外費用		
支払利息	182	455
減価償却費	947	838
支払手数料	678	684
その他	2,499	1,715
営業外費用合計	4,306	3,694
経常利益	341,153	222,200
特別損失		
固定資産除売却損	1,176	1,060
特別損失合計	1,176	1,060
税引前四半期純利益	339,976	221,140
法人税、住民税及び事業税	117,613	72,447
法人税等調整額	12,996	16,331
法人税等合計	130,609	88,778
四半期純利益	209,366	132,361

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月21日 至 2017年10月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月21日 至 2018年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	339,976	221,140
減価償却費	30,229	41,099
のれん償却額	4,191	4,191
貸倒引当金の増減額(△は減少)	247	532
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,734	△36,001
退職給付引当金の増減額(△は減少)	779	△2,319
受取利息及び受取配当金	△1,252	△1,465
支払利息	182	455
固定資産除売却損益(△は益)	1,176	1,060
売上債権の増減額(△は増加)	58,289	△57,334
たな卸資産の増減額(△は増加)	26,640	△53,192
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,370	214,903
その他	120,473	19,879
小計	548,830	352,949
利息及び配当金の受取額	1,297	1,510
利息の支払額	△159	△850
法人税等の支払額	△13,285	△107,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	536,683	245,713
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△149,203	△342,978
無形固定資産の取得による支出	△1,730	△28,500
資産除去債務の履行による支出	△2,703	—
投資有価証券の売却による収入	661	681
貸付けによる支出	△1,650	△1,980
貸付金の回収による収入	2,582	2,554
事業譲受による支出	△120,000	—
その他	7,435	5,024
投資活動によるキャッシュ・フロー	△264,607	△365,198
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△16,600	△33,700
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△82,861	△83,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,461	182,967
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	172,614	63,481
現金及び現金同等物の期首残高	1,644,003	2,249,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,816,617	2,312,648

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2017年4月21日 至2017年10月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,446,003	587,376	4,033,380	47,643	4,081,023
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,446,003	587,376	4,033,380	47,643	4,081,023
セグメント利益	1,206,104	163,173	1,369,278	26,897	1,396,176

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2018年4月21日 至2018年10月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,418,681	506,275	3,924,957	35,292	3,960,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,418,681	506,275	3,924,957	35,292	3,960,250
セグメント利益	1,130,417	144,731	1,275,149	21,288	1,296,438

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。